



# 輝く今井っ子

【学校教育目標：人を思いやり、共に高め合う子】

HPアドレス：<https://imaisho02.wixsite.com/home>

梅雨はあけませんが、晴れ間を見つけて子供たちが元気に運動したり、勉強したりしている姿を見ると、うれしくなります。また、2年生の野菜の栽培や5年生の田んぼの楽校など、子供たちは体験活動にも積極的に取り組んでいます。今後も充実した活動ができるよう準備を進めて参ります。御理解と御協力をお願いいたします。

## 【6月朝会 校長の話(児童に向けて)】

今年、例年より3週間も早く梅雨入りをしましたね。6月のことを昔の暦では「水無月」といいます。梅雨で雨が降り続くのに、なぜ「水が無い」というのが不思議に思い、調べてみました。「無」は、「ない」という意味を表す漢字ですが、ここでは、「の」というつなぐ言葉として使われているので、「水無月」は「水の月」という意味になるそうです。なるほど、確かに6月は雨が多いから「水の月・水無月」ですね。さて、今井小は、笑顔が集う学校をつくるために、「3つの合う」に取り組んでいます。「認め合う」「教え合う」「競い合う」です。6月のめあては、「互いのいいところを見付け合います」ですが、これは「認め合う」ということですね。周りの人のいいところに気が付くときは、自然に「気持ちいいな」「すごいな」と感じていると思います。でも、相手が自分と違う行動をしたり、自分と違う考えだったりすると、「おかしい」と思って、いいところを見逃しているかもしれません。「十人十色」と言いますね。10人の人がいれば、10人それぞれ違ったところがある。人は、それぞれ性格や好み、考え方が違うということです。自分と違うのは当たり前で、おかしいことではないのです。金子みすゞさんの「わたしと小鳥と鈴と」の詩にも、「鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい」という言葉がありますね。自分と違うところにも、その人のよさがあるということです。皆さんは、今までも「いいところ見付け」に取り組んできましたが、これからは、自分と違うところに隠れている「いいところ」もたくさん見付けていきましょう。そして、「人の振り見て我が振り直せ」というように、見付けたいところは見習って、自分のいいところにできたらすてきだと思います。毎朝、昇降口で集団登校してきたみなさんとあいさつをしています。こんなあいさつを受けると、とても気持ちよくなります。「進んで、おはようあいさつをする」「目を合わせて、あいさつをする」「元気な声であいさつをする」。そして、リーダーさんがしっかりと解散のあいさつをし、それに班のみんなが元気なあいさつで応える様子は、見ているだけで気持ちがいいです。どの班も、リーダーはしっかりとあいさつをしています。中でも、太田上1班と3班、太田下1班は、リーダーだけでなく班全員がいつも元気なあいさつをしています。ぜひ、他の通学班のあいさつを見て、「自分の班は、どんなあいさつをしているだろう。」と振り返り、「自分だったら、こんなあいさつをする」と考えて、やってみましょう。「自分は」「自分だったら」「自分で」の主体的な取組で、あいさつが今井っ子みんなのいいところになることを期待しています。

## 【観音山宿泊体験学習】

6月14日～16日まで、5年生が観音山宿泊訓練に行ってきました。1日目の山頂登山では、少し雨が降りましたが山頂まで登ることができました。2日目の冒険ラリーではグループの友達と励まし合いながら山道を進み、全員が歩ききることができました。3日目の沢登りは、川の中を歩き、最後に岩場からジャンプをして楽しみました。

3日間の活動を通して、子どもたちはすばらしい思い出をたくさんつくり、成長したことと思います。

